



内科医不在の山田病院を地域で支援 住民有志により「守る会」を結成

7月14日、町中央コミュニティセンターで「山田病院と地域医療を守る会」の結成総会が開催されました。

同会は、現在内科医が不在となっている県立山田病院（及川修次院長）を守るため、同病院をサポートしていくという住民組織。町民の有志14

人が呼び掛けて結成に向け準備を進めてきたもので、この日までに419人が入会しています。

総会には、100人を超える町民が出席。山田病院の発展と存続を願い、地域医療を守るために積極的に活動する——という会則が承認されました。

県立山田病院は、4月から内科医が不在となり、常勤医師は整形外科と外科の2人体制。普

段の診療に加え、入院患者の受け入れと救急対応のため月に20日間以上の当直勤務をこなす2人の医師にかかる負担は非常に大きく、健康状態が懸念されています。町も県医療局などに内科医師補充の要請を行っているものの、県内の医師の絶対数が不足していることから、当面実現の見通しは立っていません。

同会では、2人の常勤医師の負担軽減と医師補充の早期実現を図るため▼医療の現状を理解するための病院と地域との交流

会や学習会の開催▼地域医療に関する情報を広く住民に周知するための会報の発行▼病状が軽い場合は夜間の診療を控えるなど医師負担軽減への意識を高める取り組み▼町出身者や山田にゆかりのある医師の情報を収集、山田病院や町へ提供——などの活動を行うこととしています。

会長に選出された佐藤照彦さん（山田・69）は「山田病院を守るためには、地域全体で医療について考えることが必要。かかりつけの医師を持ち、緊急時以外は夜間の利用を控えるよう呼び掛けたい」と話しています。

生活機能評価で介護予防 65歳以上の方が対象です

特定健診や後期高齢者健診に合わせ、要支援・要介護認定者を除く65歳以上の方を対象とした生活機能評価を実施します。これは、高齢者に起こりやすい危険な老化のサインを発見し、介護予防に取り組んでいただくために実施するものです。

対象となる方には「介護予防のための生活機能評価票」を送付しますので、質問事項をご記入のうえ健診会場へお持ちください。この評価票により生活機能の状態をチェックし、生活機能の低下が疑われる方には心電図や貧血などの検査を受けていただきます。

◆生活機能評価の内容

①生活機能チェック	生活機能評価票による問診や身体計測、血圧測定などを行い、生活機能の状態をチェックします。
-----------	--



生活機能の低下が疑われる方

②生活機能検査	心電図検査や貧血検査などを行い、医師が介護予防の必要性を判定します。
---------	------------------------------------

なお、生活機能評価の結果、生活機能の低下があり介護予防の必要な方には、12月から来年3月にかけて町が実施する介護予防教室への参加をご案内します。

◆問い合わせ 町保健福祉課包括支援センター（☎82-3111内線170）へどうぞ。

胃がん検診、肝・胆・腎検診

胃がん検診と肝臓・胆のう・腎臓検診が実施されます。まだ申し込みをしていない方でも受診できますので、希望する方は直接会場へお越しください。

◆日程 〔8月〕

対象地区	期 日	会 場
船 越	17日～19日	船越公民館
田 の 浜	20日、21日	船越漁村センター
山 田	22日、24日～29日	保健センター

◆時間 午前6時半～8時

◆対象 40歳以上の人(昭和44年4月2日以前生まれ)

◆検診料 胃がん検診…1,500円

肝臓・胆のう・腎臓検診…1,300円

◆注意事項 ▶ 検診前日の夜8時から当日の検診終了まで飲食物（アルコール類を含む）はとらないでください▶ 検診前日の就寝時まで水、お茶は飲んでも構いません▶ 普段から服用している薬はお飲みください▶ 当日は検診終了までたばこは吸わないでください▶ 当日はできるだけ用便を済ませてからお越しください。

◆問い合わせ 町保健福祉課健康管理担当（☎82-3111内線160）へどうぞ。